

令和元年度 第2回東北森林管理局保護林管理委員会
議事概要

1. 日時及び場所

令和2年3月5日(木) 11:00~15:30
東北森林管理局 4階第3会議室

2. 議事

- (1) 令和元年度保護林モニタリング調査結果及び評価について
- (2) その他

3. 議事概要

- (1) 令和元年度保護林モニタリング調査結果及び評価について

令和元年度に実施した保護林モニタリングの調査結果及び評価等について報告。

[委員からの主な意見]

- ・ 眺望山ヒバ希少個体群保護林について、中径木が無く大径木だけで構成されているが、ヒバの更新状況については現地において確認しているか。

(事務局)

林床にはヒバの稚樹及び実生等が多く確認されている。

- ・ 保護林の学術研究への利用状況について確認するには、学術論文数を調査するだけではなく、大学のデータベース等を利用して卒業論文等にも利用されているかどうか調査した方が、より幅広くに利用状況を確認できるのではないか。
- ・ 早池峰山周辺森林生態系保護地域について、シカによるブナへの樹皮剥ぎ等が発生しており、具体的な対策を行うステージになっているのではないか。

(事務局)

早池峰周辺地域ではシカの生息状況調査やGPS首輪による追跡調査を実施しており、また、早池峰山の高山帯付近では植生保護柵を設置し、シカによる高山植物への食害防止のための取り組みを実施している。

- ・ 蔵王生物群集保護林について、枯損によってアオモリトドマツの本数の減少が確認されたとのことであったが、稚樹や実生の有無等の更新状況についても併せて確認し、アオモリトドマツ林が順調に生長している状態であるのかどうか考察する必要があるのではないか。

(事務局)

下層植生にはアオモリトドマツが確認されている。なお、今後、枯損などの変化が森林に生じている場合は、立木や下層植生など様々なデータについて照らし合わせながら評価する。

(2) その他

- 令和2年度における保護林モニタリング調査計画について
令和2年度に実施するモニタリング調査箇所について説明。

[委員からの主な意見] (特になし)